

蘭越町長  
宮谷内留雄



年頭にあたつて

町民の皆さん、新年明けましておめでとございます。

夢と希望を新たに、平成24年の輝かしい新春を町民の皆さんと共に迎えることができましたことを、心から大変嬉しく思います。

昨年中は、町民の皆さんをはじめ、町議会の皆さん並びに関係機関の温かい御理解と御協力を賜り、大変厳しい環境の中ではありましたが、町政の円滑な推進を図ることができましたことを、年頭にあたり改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、3月11日に発生した東日本大震災は、東北各県、さらには本道沿岸地域にも甚大な被害を及ぼし、被災者の皆様へ心からお見舞いを申し上げます。

防災対策をしつかりと構築し、暮らしやすいまちづくりをすすめます

ますとともに、一日も早い復旧・復興を、心からお祈り申し上げます。

また、相次ぐ大型台風の上陸や記録的な集中豪雨、さらに、景気や雇用の低迷など、私たちの生活に何かと不安の多かつた一年でもございましたが、ワールドカップ女子サッカー日本代表「なでしこジャパン」の活躍など、多くの感動と喜びの明るい話題もございました。

本町の基幹産業の農業においては、春先の低温や日照不足により農作業が遅れ、生育が大変心配されましたが、6月以降天候が回復し、本町の基幹作物の水稲は、平年をやや上回る収穫となりました。

また、馬鈴薯やたまねぎ等の畑作物は、春先の低温や、7月中旬以降の干ばつにより、収量が低下しましたが、メロン・トマト等の施設園芸作物は、概ね平年並みの収量となり、特に、トマトにつきましては、平年を上回る収益を収めることができました。

これも、ひとえに天の恵み地の恵みに加えて、生産に努力された皆様をはじめ、関係機関の適切な御指導の賜物と、深く感謝を申し上げます。

また、11月5日には、本町の生産者の皆さんが企画し、生産者と町や関係機関等が協力して、北海道で初めて「米コンテスト「米1グランプリ・in・らんこし」を開催しておりますが、全国から出品された265点の中から、字吉国の宮武正人さんの「ゆめぴりか」が見事にグランプリに輝き、日本一おいしいお米に選ばれました。

これは、土地改良事業の推進をはじめ、永年にわたり生産者と関係機関が一体となって「らんこし米」のPRと、良食味米生産に努めてまいりました本町にとつて大変うれしいことであり、今後も、生産者や関係機関とともに、良食味米生産に努力してまいります。

日本の農業を取り巻く状況は、TPP（環太平洋連携協定）の参加を巡って大変厳しい局面を迎えており、米をはじめとする重要品目の関税撤廃が例外措置として認められない場合、北海道農業は壊滅的な打撃を受けることから、関税撤廃を原則とするTPPへの参加反対について、引き続き様々な機会を通じて、関係者や関係機関に要請してまいり

ます。さて、未曾有の大地震や津波、集中豪雨等による大規模災害に対して、安全で安心なまちづくりが、より一層求められております。また、福島第一原子力発電所の事故により、原子力施設等に係る国の防災指針の見直し、さらに、北海道においても原子力防災計画の見直しも進められており、本町においても、自然災害を対象としていた「蘭越町防災計画」の見直しという大変大きな新たな課題もございます。

いづれにしましても、防災対策をしつかりと構築し、安全・安心、そして、暮らしやすいまちづくりに最善を尽くしてまいります。時代の大きな転換期を迎えている今、希望に満ちた未来へつながるよう、町民の皆さんとの力強い連帯と協働のもとに、当面する諸課題の解決に向けて、そして、第5次蘭越町総合計画の実現に向けて、全力を傾注してまいりますと存じますので、今後とも、町民の皆さんの格段の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、平成24年が皆さんにとりまして、御健康で明るく幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。まして、年頭の御挨拶といたします。

# 年頭のごあいさつ

町民の皆様、明けましておめでと  
うございます。

新たな希望と抱負を胸に、輝かし  
い新春をお迎えのことと心からお慶  
び申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまし  
て、また蘭越町にとりまして、素晴  
らしい年でありますよう、心からお  
祈り申し上げます。また昨年中は、  
町民の皆様には、町議会の運営に対  
しまして、深いご理解とご支援、ご  
協力を賜り、心から感謝とお礼を申  
上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日  
に発生した東日本大震災は、地震、

## 蘭越町議会議長

鈴木 和雄



津波、そして原子力発電所事故によ  
り、被害は甚大かつ深刻であり、未  
だその影響は広く全国に及んでおり  
ます。亡くなられた方々のご冥福を  
お祈り申し上げますとともに、被災  
された方々に対しまして、心よりお  
見舞い申し上げます。一日も早い被  
災地の復興を、心から念願するもの  
でございます。

一方で、極めて厳しい状況に置か  
れた被災者の方々が秩序を保ち助け  
合う姿や、救援のためにご尽力され  
た方々の姿に、人と人とのつながり、  
共助、絆を改めて認識し、深く胸を  
打たれる思いでございました。蘭越  
町からも被災地の支援活動に向かわ  
れ、また多くの方からの暖かい善意  
が届けられておりますことに、深く  
敬意を表するものでございます。

さて、蘭越町は人口の減少や高齢  
化の進行、地域経済・雇用情勢など、  
依然として多くの困難な課題に直面  
しております。さらにTPP（環太  
平洋戦略的経済連携協定）の問題は、  
農業、社会保障など私たちの生活へ  
の影響が懸念されております。特に  
農業分野では、専業農家の多い北海  
道農業が打撃を受けることが想定さ

れ、農村地域であります蘭越町は、  
地域の存続にも関わる深刻な問題で  
あります。

このような分岐点にあつて、私達  
は蘭越町を改めて見直し、将来に着  
実につなげていかなければなりません。  
震災以後、人々の生活意識は変  
化し、これまでの経済課題に変わり、  
人と人とのつながり、社会とのつな  
がりを重視し、エネルギーへの意識、  
消費行動などで社会・環境への一層  
の配慮が求められております。こう  
した時代の転換は、蘭越町の持つ財  
産を活用し、飛躍につなげる大きな  
チャンスでもあります。

蘭越町には、安全で安心な食、豊  
かな自然環境や魅力的な観光資源、  
そして地域を支える人々など、多く  
の誇れる財産があります。

昨年に本町農業者のご尽力によ  
り米ーグランプリが開催され、お  
いしい米づくりに取組む姿が町内外  
多くの方に知っていただきました。  
このように、自らの手で将来を切り  
開いて行く頼もしい動きが、今後も  
様々な分野で広がりを見せ、地域が  
一体となった取組を戦略的に推進し  
ていくことで、必ずや蘭越町が大き

く飛躍する原動力となるものと確信  
しております。

議会といたしましても、町民の皆  
様の大きな付託に応え、議会として  
果たす役割と責任を強く認識し、直  
面する難題に向かい、子どもたちに  
明るい希望ある未来をつくりだして  
いくために、ふるさと蘭越町への限  
りない思いを胸に、全力で取組んで  
いかなければならないと、決意を新  
たにしているところでございます。

結びに、町民の皆様にとりまして、  
この一年が希望に満ちた輝かしい年  
になりますよう、心からお祈り申し  
上げまして、新年のごあいさつとさ  
せていただきます。

蘭越町議会

議長 鈴木和雄  
副議長 熊谷雅幸

柳谷要子  
中島溢子  
五十嵐年和  
富樫順悦  
福村正見  
中島信幸  
赤石勝子  
琵琶博之

子どもたちの明るい希望ある未来のため  
役割と責任を強く認識し、全力で取組みます